

おおくにづくり計画

平成31年～令和5年



大国地域振興協議会

はじめに

ふるさと「おおくに」を守っていくために

南部町は、平成16年の2町村合併を機に住民自治のあり方について検討を進め、平成19年に町内に7つの地域振興協議会を立ち上げました。自主自立の集落づくりが求められてきた中で、各協議会単位で様々な地域づくりの取り組みを行って10年が経ち、その仕組みが住民に浸透して成果が出て来ている様に思います。

私たちの住む大国地域は、客神社をはじめ沢山の史跡、地名が存在して、律令国家以前から豊かな文化が栄えた住みよい地域であった事が想像できます。そして現代においても、スーパー、コンビニ、ホームセンター、医療機関、進出企業に囲まれて中山間地区としては恵まれた地域となっています。先人から引き継がれたこの「おおくに」の地で、自然を愛し、ふれあい・助け合い・笑顔を広め、永く暮らして行けるような地域づくりをめざして行きたいと考えています。

ここに平成31年度から5か年の「おおくに地域づくり計画」を作成しました。内容はこれまでの取り組みと同様に「生活」「教育・文化」「産業・環境」「健康・福祉」の4分野で計画しています。そして各年度毎で、検討を重ねた充実した活動計画を立て、成果の得る取り組みを展開して行きたいと思えます。

地域の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年4月
大国地域振興協議会
会長 西本和行



安心・安全な暮らしは皆の願いであり、地域の子供から高齢者まで自分たちの事は自分でを基本に、皆で助け合い、支えあって課題を解決するよう「安心・安全な地域」を目指します

1. 防災の取り組み

いざという時に備えて日頃より防災の意識を高め、地域が一体となって助け合っていくための活動を推進します

- 1) 災害発生時に初期（初動）対応を的確に行うことが出来る体制をつくる
 - ・ 集落単位での各種防災訓練の実施
- 2) 集落防災マニュアルの整備、見直し
 - ・ 防災設備、施設、危険箇所などの把握
 - ・ 避難場所、経路の確認と訓練、防災マップの見直し
- 3) 大國地域内の「農業用ため池」の実態について認識する
 - ・ これまでに調査した結果を基に、決壊を想定した、具体的対応策を検討
- 4) 消防設備の定期的点検を実施する
 - ・ 消火栓、ホースの点検
 - ・ 家庭用消火器、火災警報器の設置を推進
- 5) 災害弱者に対し、日頃から見守り活動等の実施により助け合いの体制を整える
 - ・ 高齢者世帯、独居者等への声かけ、見守り活動を展開



2. 防犯の取り組み

あいさつの声が聞こえる地域では犯罪の発生は少ないといわれています。誰もが安心して生活できるように犯罪の未然防止のため地域で防犯の取り組みを進めます



- 1) 挨拶運動を展開して、住民同士のつながりを深める
- 2) 青パト隊による子どもの見守りや防犯活動を実施
 - ・ボランティア（尚寿会、PTA、他）との連携や支援により、子どもへの声かけ、見守り活動を実施（基本的には毎週水曜日夜校見守り）、併せて地域内の防犯、不法投棄のパトロール（青色灯パトカーによる）を実施
- 3) 地域各団体との連携によるパトロールを実施
 - ・西伯小コミュニティスクールとの連携により、入学式後の1週間につき新入学生の見守り、下校指導（家まで送る）を実施
 - ・協議会+青少年育成会が連携し、夏休み中に夜間パトロールを実施
- 4) 防犯灯の新設及び更新
- 5) 振り込め詐欺等の犯罪被害からの回避
 - ・犯罪防止の周知と啓発（広報、講習会等）
 - ・合同いきいきサロンや集落サロン等で、高齢者に啓発



3. 交通安全の取り組み

交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない地域をめざします

- 1) 交通弱者と言われる高齢者の交通安全意識向上を啓発する
 - ・イベント時（尚寿会、いきいきサロン等）に講演や講習会を実施
- 2) ノボリ旗、看板等により、交通安全意識の向上を啓発する
- 3) カーブミラーの設置とカーブミラーの清掃や点検の実施
- 4) 年4回の交通安全運動期間で、啓蒙活動（のぼり旗、他）に取り組む



教育・文化分野 テーマ： 出会い、ふれあい、助け合いを大切に 活気ある地域をめざします

家庭でも世代間交流が希薄になっていると言われています。そんな課題をクリアするために、子どもの健全育成につとめたり、人との出会いを大切にし、「地域の輪づくり、仲間づくり」を目指す取り組みをします

1. 伝統行事、伝統文化の継承についての取り組み

伝統行事文化を人から人へふれあいを大切にしながら次世代へ 継承して行きます

- 1) 地域の伝統行事、文化を若者や子ども達へ継承
 - ・ 大國地区の歴史、文化について調査、情報収集して世代へ継承
- 2) 尚寿会、育成会と連携し世代間交流をはかりつつ「しめ縄」づくりなどを継承
 - ・ 神社、寺院、民話等を広報「おおくに」に掲載して認識を深める



2 青少年健全育成、若者、女性の地域活動参画の取り組み

活気ある地域を作っていくには皆で子どもを育てる取り組みが必要です

- 1) 西伯小・法勝寺中コミュニティスクールや尚寿会、PTA、ボランティアと連携し、子どもの登下校時のあいさつ運動を推進する
- 2) 地域の宝である子ども達に将来「大國」を思い出させ、また高齢者との交流も図れる事業展開を構築する
 - ・ 「まめなかや畑」の3世代交流事業の継続
 - ・ 「子ども工作教室」を育成会、尚寿会と連携して開催
- 3) 高齢化社会では、女性に活躍願う場面が多々想定され、必要性が求められている。現状から鑑みて女性組織の復活に向けた検討が必要となっている
 - ・ 女性組織復活に向けた方法や手段の検討



3. 生涯学習、教室活動の取り組み

地域の子供から高齢者まで、誰もが気軽に参加のできる「スポーツ・文化活動」に取り組みます

- 1) 各種スポーツ大会、運動会などを開催し、地域の交流、ふれあいの輪を広げる
- 2) 地域一斉ラジオ体操の継続による健康づくりの啓発とふれあいの場づくりに努める
- 3) 大国まつり、芸能大会などのイベントを通じ、学習成果の発表の場を設け、活動意欲の向上に努める
- 4) 各種教室等の開催支援に努める
 - ・農山村広場の自由開放（092 GG マスターズ等へ）
 - ・各種行事において、ラジオ体操を取り入れる
 - ・大国まつり、芸能大会の開催
 - ・活動団体支援（さくら会、尚寿会、体操教室、各種教室等）
 - ・指導者の発掘、団体登録



4. 人権学習についての取り組み

人権問題は差別意識の解消と人権意識の高揚をはかることが必要です

- 1) 行政や人権学習推進委員との連携により理解を深めるとともに方策の検討と実践
 - ・人権学習推進委員や町と連携し、研修会を開催する
 - ・各研究集会、人権セミナーへの参加
 - ・各種イベントにて、人権啓発活動を展開する



大国を守り、ずっと住み続けたい地域づくりが必要です。将来に渡り「おおくになが好き」と言える地域づくりを進めます

1・生活基盤整備の取り組み

私達の大切な生活の舞台である道路や公園施設等を、誰もが安心して使用出来る場にします

- 1) 集落内の道路の点検や小修繕、行政に対する要望の取りまとめ
 - ・集落の活動道路の小修繕が集落で実施出来るよう支援
 - ・集落から提出された要望事項の取りまとめ（調査・点検⇒提出）
- 2) 田園スクエアや集落公民館、公園がふれあいや憩いの場となる取組をする
 - ・各施設の清掃活動や点検及び利用促進
 - ・育成会との連携、協力による花の植栽
 - ・公園に設置されている遊具の点検
 - ・集落公民館を解放しふれあいの場としての活用の検討

2・環境美化の取り組み

美しい自然は地域の宝、そんな素晴らしい自然環境を将来に残して行きます

- 1) 協議会の拠点施設の田園スクエア周辺の環境美化
 - ・田園スクエア周辺の清掃（年4回）
 - ・小原ロータリーの植栽及び管理（緑の募金還元事業を活用）
- 2) ゴミの分別を徹底しゴミの減量化に努める
 - ・可燃、不燃ゴミの分別、生ゴミの水切り等によるゴミの減量化
- 3) パトロールや一斉清掃を実施しゴミの不法投棄防止に努める
 - ・赤鳥居や立看板の新設、更新、監視カメラの設置の検討
 - ・定期パトロールや、ボランティアによる一斉清掃の実施
- 4) 絹屋川、北方川の環境改善に向けての取組
 - ・河川調査結果により県・町へ要望する



3・荒廃地・遊休地への取り組み

高齢化や農業の担い手不足により農業離れが進み、農地の荒廃や遊休地化が問題となってきてます。作業委託や有利作物栽培の情報提供の支援をします

- 1) 農地の遊休、荒廃を防止のため、担い手農家、組織への作業委託等の対策の検討
- 2) 山林、竹林の荒廃防止策の検討、情報提供
- 3) 鳥獣被害防止に向け、捕獲講習や助成制度の活用に向けた支援



4・地域活性化の取り組み

地域みんなが一体となって、地域の活性化をめざす取り組みをします

1) ふるさと「大国」を再確認することや、人と人のつながりふれあいを、体感出来る地域資源再発見の場として、より充実した「大国まつり」を実施し活性化に努めます

- ・大国まつり出店に向けての集落支援
- ・作品展示コーナーの充実
- ・広場前の独自性の創出
- ・進出事業所との交流



少子高齢化が一段と進行している中、みんなで支え合い、助け合い、健康で明るい地域づくりの取り組みを進めます

1 支え合いと生甲斐づくりの取り組み

皆で支え合い、誰もが生甲斐を持ち、地域の一員として活躍できる地域づくりをします

- 1) 高齢者、障害者、子ども達を支える地域づくり
 - ・地域支え合いマップづくりの検討・取り組み
 - ・認知症サポーター研修会等の開催
 - ・災害発生時に備えて、支え合いの体制づくりと見守り活動
- 2) いきいきサロンの活動支援
 - ・集落サロン活動の支援と、全体サロン交流会の開催によるふれあい
- 3) 趣味活動、クラブ活動の支援



2 健康づくりの取り組み

一人ひとりが健康で明るく活性して行く為の取り組みを展開します

- 1) 健康講座を開催し、健康意識を高めると共に、健康増進委員、保健師と連携し、健康診断受診率の向上をめざす
 - ・町、病院、健康推進委員と連携し健康講座を開催する
 - ・健康診断受診の呼びかけを実施し啓発する
- 2) 「いきいき100歳体操」の展開を支援することで、健康づくりに繋げる
- 3) 料理教室等の開催を通じ、食生活の大切さを啓発する
 - ・料理教室、講習会の開催
 - ・食生活改善推進委員による食生活改善を、広報紙でPR



大国地域振興協議会（組織機構図）



集落別世帯・人口の状況(外国人除く)

<<南部町人口統計資料(平成31年3月31日現在より)>>

集落名	世帯	人口	男	女	~14	15 ~ 64	65 ~ 74	75~	年少 人口	生産 人口	高齢化率
原	68	228	110	118	27	110	38	53	11.84%	48.25%	39.91%
北方	26	91	43	48	9	48	15	19	9.89%	52.75%	37.36%
長田	28	87	42	45	10	48	16	13	11.49%	55.17%	33.33%
猪小路	40	117	52	65	16	50	27	24	13.68%	42.74%	43.59%
与一谷	10	38	21	17	2	20	6	10	5.26%	52.63%	42.11%
鍋倉	5	17	8	9	1	9	1	6	5.88%	52.94%	41.18%
西	33	109	50	59	16	53	21	19	14.68%	48.62%	36.70%
口絹屋	13	50	23	27	8	19	10	13	16.00%	38.00%	46.00%
奥絹屋	21	73	35	38	10	33	19	11	13.70%	45.21%	41.10%
小原	28	68	29	39	5	29	13	21	7.53%	42.65%	50.00%
倭	85	258	124	134	44	135	44	35	17.05%	52.33%	30.62%
倭二区	8	26	13	13	2	17	5	2	7.69%	65.38%	26.92%
大国田園 ハイツ	40	131	59	72	17	96	8	10	12.98%	73.28%	13.74%
小計	405	1293	609	684	167	667	223	236	12.91%	51.59%	35.50%
ルーラルタウン	24	88	46	42	25	53	6	4	28.41%	60.23%	11.36%
全体	429	1381	655	726	192	720	229	240	13.88%	52.21%	33.91%